

ChatGPT にお題を与えて英語で作文をしてもらう実例をいろいろ見てきました。語数と語彙レベルもしっかり指定するのがカギでしたね。

お好み焼きの文章をいくつも目にして今や食傷ぎみのかたもいるでしょうが、同一テーマで生成された作文をあれこれ読むと、**ひとつのことを言い表すにも別表現がいくつもある**ことに気づきます。それらに触れると、脳内に英語表現のネットワークを作っていく助けになります。

第2章では ChatGPT に英会話サンプルを生成させます。自分が置かれた**状況にピッタリ合った会話モデル**に触れることで、**ずばり必要となりそうな英語表現を事前に仕入れる**ことができます。これは強い味方になりそうです。

単に作文をさせたときと会話例を作らせたときの共通点・相違点がわかるよう、この章の最初は「タナカさんのお好み焼き屋接待」の続きです。(ゲップが出そうなかた、ごめんなさい!) この章の後半は、別の話題となっております。

### 英会話現場を「事前に体験」してしまおう

タナカさんの職場の上司は、話しかけやすいと評判で人望あつていすがわさん。社内でも、とくに女性社員のロールモデルになっています。英語力の補強のために ChatGPT の助けを借りたことを報告しました。

**スガワ:** いいコツを見つけましたね。**ChatGPT に作文を頼むときは語数と語彙レベルを指定**する。だいたいなポイントです。

**タナカ:** たしかに! 語数を指定せずに作文させると、ドヒャツと長文が出てきて、まいりました。

**スガワ:** ところで、**ChatGPT に想定会話例を作ってもら**うテクニックもあるんですよ。会話サンプルに事前に目を通しておけば、ははあ、こんな流れで話が展開できそうだなとわかって、心の準備ができるんじゃないかしら。しゃれた切り返しのかたとか、話題の振り方とか、いろいろ学べるかもしれません。

**タナカ:** え、どうすればいいんですか。教えてください!



ユーザーのプロンプト

米国人の A さんを、日本人ビジネスパースンの B さんが、夕方にお好み焼き屋で接待します。店内での A さんと B さんの会話を、基礎語彙からなる英語で作ってください。



ChatGPT の回答

**B:** Gòod évening! Wélcóme to our okonomiyáki réstaurant. I hópe you're excíted to trý some delicióus Japanése cuisíne.

**A:** Gòod évening, B-san! Thánk you for invítíng me. I'm